

我が校の学力向上策

1 課題

全体

- ・基礎学力を日常生活の中に活用する力

国語について

- ・語彙数を増やす
- ・自分の思いや考えを自分の言葉で表現し、友だちの意見を聞き、比べる
- ・学年で習う漢字の定着

算数について

- ・四則演算の定着
- ・自分の考えを筋道を立てて説明したり、解決方法などを記述すること
- ・重さやかさ、面積などの感覚

学習状況について

- ・与えられた課題に真面目に取り組むことができるが、自ら課題を見つけ課題解決していく姿勢に乏しい
- ・自分の考えは表現できるが、人の考えと比べて考えたり、それについて述べたりする力が弱い面がある

2 学力のとらえ方

学力とは

A：基礎・基本

- ・聞く力、話す力
- ・四則演算の定着
- ・教科書がスラスラ読める
- ・学年の漢字の読み書きができ使える
- ・自分が読みたい本を選んで読む

B：活用・思考・判断・表現

- ・自分の知識や体験と結びつけながら、自分の考えを持つ
- ・自分の考えと比べながら、友だちの考えを聞く
- ・自分の考えを絵やことば、文で表現する
- ・大切な言葉に着目してまとめる

C：学習意欲・習慣

- ・読書習慣を身につける
- ・学習規律を守る
(学習の用意や学習態度)
- ・予習により、理解を深める
- ・家庭学習の習慣化

3 学力向上へのアプローチ

◎Aへのアプローチ

- ・日常的な積み上げ学習の継続（計算や音読、漢字の継続的な反復練習）
- ・個に応じた学習の充実
- ・読書時間と読み聞かせの時間の確保（読書通帳の活用）

◎Bへのアプローチ

- ☆「課題把握→ひとり学び（自力解決）→表現」の学習過程の定着
- ☆表現力を育てるための場の設定
 - ・「ひとり学び（自力解決）」をテーマとした研究会の開催（全職員の実践交流）
- ☆個に応じた支援の工夫、教師の指導力向上

◎Cへのアプローチ

- ☆読書習慣を身につける…朝読書、読み聞かせの時間の確保
- ☆学習意欲を持たせる工夫 「なぜ？」「どうして？」を大切に
- ☆学習規律の確立 学習のルール、パターンの指導
- ☆家庭学習の習慣化（予習を取り入れる）

1年…10分、2年…20分、3年…30分、4年…40分、5年…50分、6年…60分

4 学力向上の検証

- ・学校評価（教師、保護者、児童）・学びの振り返り
- ・学力調査結果の活用
- ・評価規準に基づいた指導、見直し